



富良野通信 2007春

今年もアスパラ、メロンのご案内をさせていただく頃となりました。なんと一年の過ぎてゆくのがはやいのでしょうか！

毎年同じ挨拶ですみません。
皆様もお変わりなくお過ごしでしょうか？

1,2月はかなり暖かく、雪も少なめで雨なんか降ったりしました。マイナス20度以下になったのは、たったの2回くらいだったでしょうか・・・

温暖で過ごし良いといえば過ごしよいのですが、きつとどか雪が来ると心配していましたが、それも無くほっとしていました。

どか雪は無いのですが何日も降り結局積雪量は平年並みというところでしょうか？

4月に入ってから寒く日中の気温がやっと2,3日前15度くらいになってくれました。

太陽さんさえ出てくれれば雪解けは進み出しほっとしています。

いつものことなのですが、この時期は来てくれそうで来てくれないのが北国の春なのでした。

まだアスパラ畑は土が見え出したばかりです。去年はアスパラが不足で一部のお客様にご迷惑お掛けして申し訳ありませんでした。今年は新規更新したものが3年目で収穫出来ますので収量はたっぷり出てくれるはず。ご注文お待ちしております。早くアスパラがニョキニョキ出てくれる季節になあれ・・・



加温のメロンは4月7日に初定植しました。7月上旬に出荷の予定のものです。

能登半島地震がありましたね。

被害に合われました方、心よりお見舞い申し上げます。

農業被害は42億円位との事、他人事とは思えません。

一日も早く終息しますようにお祈りいたします。ソロモン諸島でもありましたね。それから干ばつがひどいオーストラリア、北極の氷が溶け出したりこのまま温暖化の進行は加速度を増すのでしょうか？

ウンチク、かんちくコーナー

「1」 花は何故色を持つのか？

花が色を持つようになったのは、昆虫が花粉を食料として利用するようになった後ではないかとされています。

受粉は昆虫が花から花へと食料の花粉を求めて移動することで行われます。

目立つ花の方が有利な為、花の色はより多彩に花も大きくなりました。

花の中でも白は特殊で、純白の花は自然界には殆どなく、人間が白い花と思っている物の多くは極めて淡い黄色なのだそうです。

花の中にはフラボノイドという成分が含まれているため、この成分がないと、まさに純白になるそうです。この白色は「dead white」と呼ばれています。

フラボノイドがあると温かみのある白色なります。

フラボノイドは紫外線に大きな光吸収帯があり、蜂等はそれを見ることが出来ます。

その為、白い花でもフラボノイドを含んでいれば昆虫が訪れ受粉できます。

でもフラボノイドがない白い花には昆虫が訪れず、野生植物ではいずれ淘汰される運命にあります。

夜咲きの花には黄色花とともに白色花が多いのですが、暗い中では明るい色が目立つからです。また、芳香を伴うことも多いのはガのような訪花昆虫の誘引に有利な為と考えられています。

素晴らしい色のお花を見た時に思ったことはありませんか？「いったい何のために、どうしてこんな綺麗に咲くの？」それは子孫繁栄の為だったのですね。（以上、国立博物館植物研究部）

(2) ミミズについて

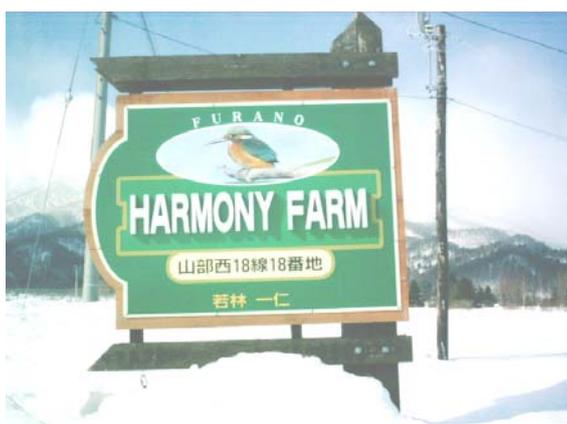
枯れた葉や根と友に土を食べて栄養を取るミミズは、十数匹で半年間に1平方メートル当たり約3,8キロもの糞を出すそうです。1ヘクタール（約3000坪）38トンもの土を動かす、大変な耕運への貢献をしてくれるのです。我が家の畑には太い太いミミズが沢山いますよ。

(3) 倉本 総先生の「富良野塾」 来年度閉塾

22年間俳優やシナリオライターを育ててきた「富良野塾」農繁期には農家の手伝いなどし、自給自足の生活をしながら2年間勉強をしていたのですが、来年で23年間に幕です。理由はいろいろらしいですが、1、応募してくる若者達にハングリー精神が無くなってきている。2、先生が年齢的なものもあり、心身共にお疲れとのことでした。今後も卒業生と共に演劇活動は続けられるそうです。



ハウス周りの除雪 3/30



こんな看板が建ってます。
お近くにお越しの節は是非お立ち寄りください・・・！

最後に控えめにおトーさんの愛器
Martin 000-28

